

東京大学における社会連携に関する基本方針

近年の地球的な規模の危機は、それを解決する知の担い手である大学の社会的役割への期待を高めています。また、大学の使命の根幹である教育と研究の展開の上に、社会連携が大学の第三の使命として重要性を増してきました。

東京大学は、学問の自由と自律を基盤に、世界に向かって自らを開き、社会の過去・現在・未来に対して責任を持ちうる教育・研究活動を行いながら、大学と社会との双方向的な連携を推進することを基本理念としています。

大学が社会と関わりあう回路は無数にありますが、よりいっそう「社会に開かれた大学」として、大学から社会への研究成果の還元という一方向だけでなく、大学と社会が協働して課題を発見・共有し、新たな知とイノベーションを生み出す「知の共創」と呼ぶべき双方向の活動を推進するため、社会連携に関する基本方針を以下のとおり定めます。

1. 研究成果の還元と「知の共創」の推進

研究成果の社会への還元と、大学と社会が協働して課題を発見・共有し、新たな知とイノベーションを生み出す活動（「知の共創」）を、教育・研究の多様な回路を通じて展開します。

【具体的な事業の例】

- ・産学連携事業の推進
- ・各種寄付講座の設置
- ・多様な分野の最先端の研究成果を統合した政策選択肢の構想と提言
- ・初等中等教育の質の向上に寄与する活動

2. 教育・研究活動に対する理解の促進

教育・研究活動をより見えやすいものとし、社会の理解を促進します。

【具体的な事業の例】

- ・教育・研究活動についての情報発信
- ・オープンキャンパスや一般公開等の施設公開
- ・情報通信技術等による公開授業の拡充

3. 卒業生等との連携

社会の多様な分野で活躍している卒業生や、大学の教育・研究活動の理解者である幅広い人々との緊密なネットワークを形成し、相互に連携することを推進します。

【具体的な事業の例】

- ・ホームカミングデイの開催
- ・卒業生が参画する活動の実施
- ・卒業生等への情報発信及び交流

4. 社会人向け教育プログラムの推進

社会人再教育機能の充実・強化や高度専門職業人の育成のため、社会と連携する多様な教育活動を積極的に推進します。

【具体的な事業の例】

- ・社会人を積極的に受け入れる柔軟な教育システムの構築・運用
- ・社会人向け教育プログラムの開発・実施

5. 地域等との連携

地域等（自治体、国、国際機関等の公的機関、NPO法人など）と連携し、本学及び地域等が有する資源を相互に活用し、双方の発展に貢献します。

【具体的な事業の例】

- ・本学が保有する資源を活用した地域貢献
- ・自治体等の審議会・委員会への参画
- ・地域等との連絡調整

6. 東京大学への経済的支援の拡大

大学の教育・研究活動や社会連携に関する取組事業を支えるためには、財政基盤の強化は不可欠であり、社会からのさらなる理解と支援を得て、大学への経済的支援の拡大を目指します。

【具体的な事業の例】

- ・東京大学基金の充実
- ・奨学制度の充実支援
- ・研究者の研究活動支援
- ・キャンパス環境の整備支援